

# 人肌<sup>®</sup>のジェル作成のキホン

人肌のようなやわらかさを楽しめる【人肌<sup>®</sup>のジェル】。

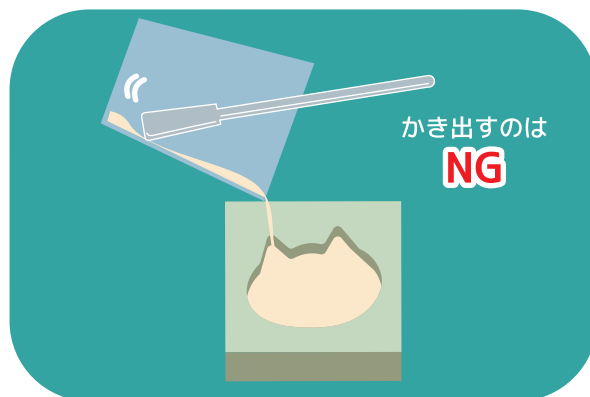
「作ったはいいいけどかたまらなかった…」なんてことにならないように、注意すべきポイントをチェックしながら、取扱説明書通りに作成しましょう！

## 未硬化を防ぐ！作成のポイント

### ① 1回で作成する量は多めにする！

少ない量で作成すると、誤差の許容範囲も小さくなってしまいます。また容器のフチや混ぜ棒についた液は混ざりにくいので、ギリギリの量で作成すると混ざりきっていない液までかき出さなければなりません。

容器に流し入れたときに**自然に流れ落ちるくらいの量を目安に**、余裕をもって作成しましょう。



### ② 計量を正確にする！

正確に量って混ぜ合わせることが非常に重要です。

「**主剤の重さ：硬化剤の重さ = 3：1**」をしっかりと守って計量しましょう。また**誤差は主剤の1wt%以内**にとどめる必要があります。

1wt%とは使う主剤の重さ×0.01。つまり100gセットを使用する場合、主剤75g×0.01=0.75で±0.75gまでしか誤差を出すことができないということです。

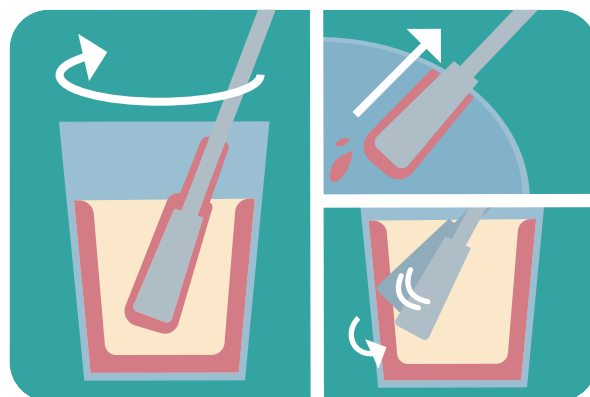
ここで①の「多めに量る」重要性がわかります。



### ③ しっかり混ぜる！

主剤と硬化剤はどろっとしている液体とさらっとしている液体です。この2種類をしっかりと混ぜないとキレイにかたまりません。また**容器のフチや混ぜ棒についた液は混ざりにくいので特によく混ぜる**ようにしましょう。

作成量にもよりますが3分程度は混ぜるようにしましょう。



ピンクの部分は混ざっていない

# 未硬化の場所で、原因を探る！

## ① 型と接するところが未硬化…

この場合は使用している**型に原因**があることが多いです。

人肌のゲルは型との相性によって未硬化になったり、型から剥がれなかったりします。

木型や石膏型など水分が含まれているような材料の型はお使いいただけません。

また離型剤が必要な型もありますので、次の表を確認してください。

型材（成分・品名）	適合性	備考
ポリスチレン（PS）・ポリエチレン（PE）・ポリプロピレン（PP）	○	離型剤不要
シリコーン（シロプレン RTV-2K#1406・Mr. シリコーンウェーブ・シリコーンゴム） 製作後 1 週間程度時間をおいて、中の揮発成分（アルコール、シリコーンオイル等）を揮発させ、よく拭き取ってからお使いください。	○	離型剤の使用をおすすめします
PET、金型、アルミ、FRP 型、樹脂型 シリコーン（スーパー EX シリコン）	△	要 離型剤
木型、石膏、塩ビ	×	

※シリコーンはメーカーによって適合しないものがあります。上記以外のシリコーンは確認後の使用をお勧めします。  
※離型剤を型に塗った場合は、よく乾かしてから人肌のゲルを流し入れてください。  
※離型剤の適合例：信越シリコーンバリアーコート No.7（弊社品番：Ba-7）、ケムトレンドジャパンケムリース KA-0


## ② 表面や全体が未硬化…

この場合は**作成方法や作成環境に原因**があることが多いです。

前項で説明した「作成のポイント」が守られていなかったり、室温が低かったり、湿度が高すぎたりすると未硬化になる恐れがあります。

室温度・液温度	室湿度	主剤・硬化剤の混合量精度	可使用時間
20℃以上	80% 以下	1wt% 以下	約 10 分

※室温の下がりやすい冬場はお気を付けてください。  
※梅雨などの湿度が高くなる季節はお気を付けてください。


 人肌® のゲルに関する詳細は下記ページへ



<http://www.exseal.co.jp/creative/hitohadanyu.htm>



「もちもちあざらしくんの作り方」に関するお問い合わせはこちらまでご連絡ください。

 03-5449-2716